



東北大学

報道機関各位

リリース先：宮城県政記者会



2017年1月10日

東北大学病院

my 硯づくり in 東北大学病院を開催

- 闘病中の子どもたちが彫刻家 武藤順九氏と伝統工芸品「雄勝硯」を作成 -

東北大学病院（以下、本院）、は1月14日（土）、本院外来棟において、「my 硯づくり in 東北大学病院」を開催します。

「雄勝硯（おがつすずり）」は、宮城県石巻市雄勝町内で採れる玄晶石が墨との相性がいいことから約600年前から生産が始まり、今では国の伝統工芸品に指定されています。職人がひとつひとつ丹精こめて彫り上げる硯は人々を魅了し、雄勝町は日本一の硯の町として知られるようになりました。しかし、東日本大震災の津波で町は壊滅的な被害を受け、今なお、再建・復興の途中です。

そんな中、仙台市出身でイタリア在住の彫刻家 武藤順九氏は、雄勝の石職人さんの協力を得て、雄勝硯を全国に発信していく「MY SUZURI（マイ硯）」運動^{※1}を立ち上げました。自分で考えたデザインで世界にたった一つの硯をつくるプロジェクトは、雄勝の復興を後押しし、また日本古来の文化を再考する機会として全国に広がりつつあります。

このたび、本院では、武藤氏の理念に賛同し、闘病中の子どもたちとともに本院外来棟にてmy 硯づくりを行うことといたしました。宮城県が世界に誇る雄勝硯を通して、子どもたちと医療者がともに命について考える機会といたします。尚、3月には第2弾として、出来上がった硯で墨をすり、筆を使って自由に描く「心の絵巻物」をつくる予定です。

つきましては、ご多用のところ恐れ入りますが、ぜひご取材いただきますようご案内申し上げます。ご取材の際は、下記問い合わせ先まで事前にご連絡をお願いいたします

■イベントタイトル：my 硯づくり in 東北大学病院

■日 時：1月14日（土）13：30～16：00

■内 容：好きな形の石を自分で選び、硯のデザインを考え、彫刻刀で削って作成する

■参加者：東北大学病院で受診されたことのあるお子さんとそのご家族 10～20名

■会 場：東北大学病院 外来棟1階

■注意事項：風邪の季節になりますので、ご参加にあたっては、インフルエンザワクチンをなるべく接種してきてください。当日、発熱、下痢、嘔吐、咳・くしゃみなどの症状がある方の参加はご遠慮いただきます。また、別紙の体調チェック表に当日の体調を記入し、ご持参ください。その他、手指消毒、マスクの着用など感染予防へのご理解とご協力をお願いいたします。

【問い合わせ先】

東北大学病院広報室

電話番号：022-717-7149

FAX：022-717-8931

Eメール：pr@hosp.tohoku.ac.jp



※1 「MY SUZURI (マイ硯)」運動ロゴ (左) と雄勝硯 (右)
2015年8月、“復興と造形教育”をコンセプトに武藤順九氏が発案し立ち上がったプロジェクト。一般社団法人「風の環」が支援し、教育の中にある日本文化の重要性の普及と、硯の町・雄勝町の復興を目指している。参考：<http://www.junkyu.jp/kazenowa/mysuzuri.html>



武藤順九 / 彫刻家・画家

1950年、仙台にて生まれる。
その後1973年東京芸術大学美術学部を卒業。
同年より、パリ、スペイン滞在をへて1975年イタリア・ローマへアトリエを構えて今日に至る。
2000年、バチカン史上初の抽象彫刻として「風の環」が夏の宮殿・カステルガンデルフォへ永久設置され一躍名を世界に高めることとなる。2006年、仏教の聖地インド/ブダガヤ(世界遺産)へ、また2008年、アメリカ・ワイオミング州にあるネイティブアメリカンの聖地デビルスタワーへ「風の環」シリーズが永久設置される。なお同「風の環」シリーズがニューヨーク・グランドゼロへ9.11平和モニュメントとして設置計画されている。